JTB旅ホ連特集

JTBグループ2023年度連結決算

売上高、4期ぶりに1兆円超え

JTBは5月24日、JTBグループ2023年度（23年4月～24年3月）連結決算を発表した。売上高は前年度比10・5％増の1兆809億5千万円と、回復してきた国内旅行と訪日旅行の需要を確実に吸収し、19年度以来、4期ぶりに1兆円を超えた。営業利益は同25・9％減の249億4100万円、経常利益は同27・3％減の288億9900万円、当期純利益は38・9％減の183億1600万円と黒字を確保。山北栄二郎社長は「23年度はコロナ禍における守りから攻めへのフェーズに移行するステップとして、DXや人への投資、成長投資を加速させるための攻めの減益であったと捉えている」と語った。

国内・訪日旅行が回復

連結対象会社数は国内22社、海外74社、持分法適用会社18社の計114社（24年3月末現在）。従業員数は1万8993人（同）。

山北社長は「昨年5月に実施された新型コロナウイルス5類感染症への移行を機に国内旅行や訪日旅行は大きな回復となった。円安やインフレ、不安定な国際情勢などの影響によって海外旅行は十分な回復には至っていない。アフターコロナにおける企業イベントや出張の需要拡大を捕捉。また、日本を除く第3国間のグローバル事業も大きく回復し、4期ぶりに売上高1兆円を超えることができた」と説明した。

決算発表会見を行う山北社長

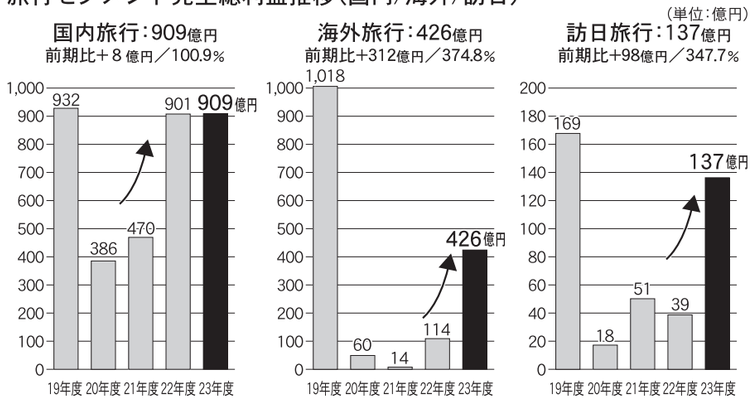
各旅行セグメントの売上総利益の推移を見ると、国内旅行は昨年のコロナ感染症の5類移行を受け、コロナ前の水準に回復。地域活性化キャンペーン「日本の旬」は、「北海道」と「アドベンチャーツーリズム」をテーマに実施した。

海外旅行は、コロナ前の水準まで回復していないが、徐々に戻りつつある海外旅行需要をさまざまな施策で補足し、前期比では大幅増収。訪日旅行は前期比で大幅増収となった。

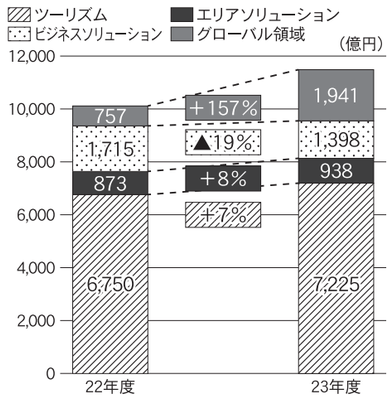
事業・領域別の業績を前期と比較すると、ツーリズム事業やエリアソリューション事業、グローバル領域は増収だった。ビジネスソリューション事業はコロナ関連のビジネスが減少したため減収となった。

25年3月期の連結業績予想は、売上高で前期比7・5％増の1兆1620億円、営業利益で53・5％減の116億円。

旅行セグメント売上総利益推移（国内/海外/訪日）



事業・領域別業績（売上高の推移）



未来広げる機会を創造

JTB 教育旅行プロジェクト

JTBは5月8日、PLAY SPACE（広島県広島市）など9法人と共同で、修学旅行などの教育旅行を通じて中高生が多様な価値観に出会い、自分の価値観や生き方を見いだし、未来の可能性を広げていく機会を創り出すプロジェクト「MY LIV PROJECT ～私のWell-beingに出逢う旅～」を始動した。プロジェクトに関わるすべての人が共に学びあい、成長し、一人一人のWell-beingが他者や地域社会へ派生、循環する平和で心豊かな社会の実現を目指す。

「LIV（リブ）」は、「人生」「存在」を意味するデンマーク語。プロジェクトでは、①「出逢い」がある旅②「対話」で深まる旅③「問い」が生まれる旅、の三つを大切にし、子どもたちが自分らしさや自身の価値観と向きあう機会を提供する。

プロジェクト第1弾として、全国の中学校、高等学校に向け「観光人クエスト」「ピースダイアログ」の2プログラムを企画した。

より良い未来を創るために本質的なモノやコトに光を当て、自らも光り輝くように活動している人を「観光人」と名付けた。「観光」の語源が本質や本物を観ることであることに由来。観光人クエストは、子どもたちが旅を通してその地ならではの観光人と出会い、その人の人生や価値観に触れてココロが動き、自身のあり方を探求するようになるプログラム。

ピースダイアログは、平和活動を行う若者と語り合いながら、子どもたち自らが「自分にとっての平和」について主体的に考えていく対話型プログラム。子どもたちと平和について共に学び合う、平和活動を行う若者「ピースバディ」が、答えを教えるのではなく、子どもたちのアウトプットを重視し、未来への希望と自己肯定感を育む機会を提供する。

ユニバーサルツーリズム JTBが新規事業

JTBは5月27日、ユニバーサルツーリズムに関する新規事業「UniTri～ゆにとり～TM」の実証実験をパートナー企業と共に6月から開始すると発表した。疾患、障害のある人や家族の快適な旅、健やかに過ごせる生活を支援する事業。すべての人に平等な旅と健康を届け、心豊かな社会の実現に貢献することを目指す。

疾患や障害のある人の中には、旅行に行きたくても行くことができない人、また、行くことはできても不便を感じていたり、行動制限をしていたりする人が多く存在する。インターネットやSNSなどの世の中にあふれる情報の中から、適切な情報を得ることができず、悩み続ける人も多い。

同事業では、従来の旅行プランの造成ではなく、事業パートナーと共に旅行環境整備、滞在支援、旅行前の情報提供などを行うことで、旅に課題を持つ人でも安心して利用できるサービスを提供。患者、障害者、家族同士が気軽に投稿、情報交換ができるコミュニティ（アプリ）も提供し、QOL向上へ貢献する。

第1弾の取り組みとしてアトピー患者、家族向けサービスを展開。コミュニティアプリや、宿泊先でのアトピー患者向けのサンプル商品の提供などを行う。

電通デジタルと持続可能な観光地 JTB

JTBは、電通デジタル（東京都港区）と、持続可能な観光地域づくりに向けたマーケティング支援において協業することで合意した、と5月27日に発表した。

地域の観光課題に対し、電通デジタルの企業マーケティング変革支援に特化したコンサルティングサービスや生成AI、メタバースを活用した新たなデジタル体験に対する専門性と、JTBの全国ネットワークを生かした観光地域づくりの課題を解決する知見やデスティネーション開発の実績を掛け合わせ、地域の体験価値向上と持続可能な経済社会の実現を支援する。

全国各地域の自治体や地域の観光関連事業者を対象に、複数のステークホルダーが関係する各地域の事情に沿った適切な戦略を構築。具体的には、①自地域の課題を客観的に把握したうえで、②地域ごとに対応した最適なマーケティング戦略を構築し、③そのマーケティング戦略を実現するためのサービスを提供する、といった三つのステップで構成された伴走型コンサルティング支援サービスを提供する。

今後も両社は、観光マーケティング変革支援において、観光DXや旅行者の体験向上などの達成に向けた戦略、実装、運用、そして地域の自走化まで統合的に伴走することで、自治体、DMO、観光関連事業者の成長を通じたウェルビーイングな地域社会の実現に貢献していく。

人事

◎JTBグループ（JTBの6月1日付人事異動に伴うもの。正式には各社の株主総会、取締役会などで決定の運び）

JTBコミュニケーションデザイン取締役兼執行役員コーポレートソリューション部長（JTBコミュニケーションデザイン執行役員コーポレートソリューション部長）島村直樹

6月末日退任＝JTBコミュニケーションデザイン取締役・古野浩樹

祝 JTB旅ホ連 2024年度通常総会

山梨県石和温泉郷のリゾート旅館
華やぎの章 慶山
〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 822
TEL：055-262-2161　FAX：055-262-4162
URL：https://keizan.com/

湯畑前の老舗旅館
一井
HOTEL ICHII
泉質主義 草津温泉
〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町411
TEL.0279-88-0011（代） FAX.0279-88-0111
https://www.hotel-ichii.co.jp

中部山岳国立公園 白骨温泉
政府登録国際観光旅館 名湯露天風呂
白船グランドホテル
〒390-1515 長野県松本市安曇白骨温泉
TEL.0263-93-3333（代）
0263-93-2136（予約専用）
FAX.0263-93-2367
HPアドレスhttp://www.shirafune.net/

1300余年の歴史を現代に伝える、
全館源泉掛け流し・ギネス認定世界最古の温泉旅館

全館源泉掛け流しの宿
甲州西山温泉
慶雲館
〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島白沢 83
TEL:0556-48-2111　FAX:0556-48-2611　URL://www.keiunkan.co.jp

人気エリア箱根に2つのホテル。 好評ご予約受付中！

檜造りの宿 ホテル森の風 箱根仙石原

雲海の宿 ホテル四季の館 箱根芦ノ湖
※大人の宿：中学生以上

フラワー＆ガーデン
ホテル森の風 鷺宿

那須 みやびの里
ホテル森の風 那須

※大人の宿：中学生以上
那須 みやびの里
ホテル四季の館 那須

立山連峰の宿
ホテル森の風 立山

英国調シティホテル
ホテル東日本 宇都宮

ご宿泊予約共通ダイヤル 0120-489-166

㈱日本ハウスホールディングス／㈱日本ハウス・ホテル＆リゾート／㈱日本ハウス・ホテル＆リゾート倶楽部　〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4 丁目 3-8 日本ハウス HD 飯田橋ビル

草津温泉
名物湯もみを館内で。
美味饗宴
心安らぐ味の芸術。
格調高い伝統美
数寄屋造りの新客殿も。
泉質主義 草津温泉
草津温泉 草津白根観光 ホテル 櫻井
〒377－1711
群馬県吾妻郡草津町 465－4
TEL. 0279-88-1111（代・直通予約）
FAX. 0279-88-2153
http://hotel-sakurai.co.jp/